



(国見キャンパス2号館)

特別展「芹沢銈介・文字デザイン」

2016年4月19日(火)～2016年7月16日(土)

当館は東北福祉大学付属の美術館として1989年に開館しました。館収蔵の芹沢銈介の作品や氏の世界各国の工芸品コレクションは、年3回の展覧会を通して、学内のみならず、地域の方々にも広く公開しています。

芹沢銈介(せりざわけいすけ：1895～1984)は、沖縄の染色技法「紅型」との出会いにより、染色家の道へと進みます。図案作成、型彫り、型付け(糊置き)、色差し(染め)といったこれまで分業で行われていた工程を、一人で行うという新たな染めの形を作りました。その染色技術と染め上がった文様の美しさが高く評価され、1956年に「型絵染」の重要無形文化財保持者(人間国宝)の認定を受けます。芹沢が制作した作品は、多くの人々に親しまれ、生活の中で用いられました。

本展覧会は、芹沢の卓越した「文字デザイン」に注目します。漢字一字とその意味にまつわる文様を組み合わせた「文字絵」、仮名47文字で構成された「いろは文字」、布が風に翻って文字の形を表す「布文字」、丸の中に文字を組み込んだ「丸紋文字」や民藝運動の創始者・柳宗悦の「ことば」など、5つのテーマで作品を展覧します。静岡市立芹沢銈介美術館、柏市、宮城県美術館所蔵の代表作も一堂に揃う展覧会ですので、この機会に是非ご覧ください。

【関連事業】

◆学芸員によるギャラリートーク

7/16(土) 11:00～(自由参加)

◆ワークショップ「3D布文字を作ろう」

開催日 会期中4～6月の毎週月・土曜

受付時間 11:00～15:00

体験時間 30分

材料費 400円(福祉大生100円)

【入館料】学生証の提示にて無料

【休館日】日曜・祝日

【開館時間】10:00～16:30

【問い合わせ】TEL022-717-3318

1Fのミュージアムショップや5Fの見晴らしの良いカフェもご利用ください。



芹沢銈介作「福の字」
1925年頃